

戦略的資金管理推進検討委員会 報告書

素案（案）

川崎市

平成25年10月

目 次

1 資金調達及び資金運用をめぐる現状と課題

- (1) 新たな取組の検討の必要性
- (2) 検討の視点及び検討内容
 - ア 検討の視点
 - (ア) 地方自治法及び地方財政法からみた資金調達・資金運用のあり方
 - (イ) 川崎市自治基本条例からみた財政運営のあり方
 - (ウ) 財政の健全性の確保に向けた資金調達・資金運用のあり方
 - イ 検討内容
- (3) 資金調達及び資金運用をめぐる最近の状況
 - ア 地方債を取り巻く環境の変化
 - (ア) 公的資金の縮減・重点化
 - (イ) 近年の地方債に関する制度等の変遷
 - (ウ) 公共債市場の動向
 - (エ) 職員の金融リテラシーの向上の必要性
 - イ 川崎市の現状
 - (ア) 川崎市の資金調達・資金運用の状況
 - (イ) 資金調達・資金運用が財政運営に与える影響

2 銀行等引受債の活用

- (1) 川崎市起債運営アドバイザー・コミッティにおけるこれまでの研究内容
- (2) 委員会における検討項目及び検討結果
 - ア セーフティネットとしての銀行等引受債の活用
 - イ 透明性を確保した条件決定方法
 - (ア) 証書借入や定時償還債における金利水準
 - (イ) 予見可能性を確保した条件決定方法による金融機関との関係構築
 - 金利水準
 - ①定時償還債における償還方法の違いを加味したプライシング方法
 - ②基準金利の決め方
 - 発行規模
 - ウ 今後の対応

3 変動金利債の活用

- (1) 起債運営アドバイザー・コミッティにおけるこれまでの研究内容
- (2) 委員会における検討項目及び検討結果
 - ア 発行目的別にみる有効性
 - (ア) コストの軽減
 - (イ) 安定調達の実現
 - イ 導入時期・調達年限
 - ウ その他の検討項目
 - (ア) 変動金利債の発行額全体に占める割合
 - (イ) 金利スワップの活用
 - エ 今後の対応

4 外債の発行

- (1) 起債運営アドバイザー・コミッティにおけるこれまでの研究内容
- (2) 委員会における検討項目及び検討結果
 - ア 発行目的別にみる有効性
 - (ア) コストの軽減
 - (イ) 安定調達の実現
 - (ウ) 海外での川崎市の知名度向上
 - イ 発行市場・通貨
 - ウ その他の検討項目
 - (ア) 発行規模
 - (イ) 発行年限
 - (ウ) 格付けの取得
 - エ 今後の対応

5 資産負債管理（ALM）を踏まえた基金運用

- (1) 川崎市起債運営アドバイザー・コミッティにおけるこれまでの研究内容
- (2) 委員会における検討項目及び検討結果
 - ア 歳計現金等の一時的な収支不足に対する一時借入の活用

- イ 基金運用における中途売却
- ウ その他
 - (ア) 運用銘柄の選定
 - (イ) 30年債の活用
- エ 今後の対応

6 資金調達及び資金運用に関する今後の取組の方向性

- (1) 職員のリテラシーの向上
- (2) リスク管理体制の整備
 - ア リスク管理の体制
 - イ リスク管理の方法